

## 令和6年度 こども・健康部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
こども・健康部長 土田 恵子  	<p>●使命 こども・健康部は、安心して子どもを出産し、子どもたちが健やかに育ち、笑顔で子育てできるまちを目指して、子どもと子育てを応援する環境づくりを推進します。 また、健康づくりについての正しい知識を持ち、乳幼児から高齢者まで、すべての市民が自分らしい豊かな人生を送れるよう、心と体の健康づくりを進めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>① 行政機関や地域とのネットワークを充実させ、結婚、妊娠期から出産、子育て期にわたり、切れ目のない支援を提供します。</p> <p>② 市全体、地域全体での外遊びを通じて、人と人、人と地域がつながる場、みんなで子どもを育て自らも育つ環境づくりを推進します。</p> <p>③ 子どもを安心して預けられる保育園・こども園の整備・管理・運営や、放課後児童対策を充実することで、働きながらも安心して子育てできる環境づくりを推進します。</p> <p>④ 市民が自分らしく豊かな人生を送ることができるよう、地域ぐるみで心と体の健康づくりを推進します。</p> <p>⑤ 岡山県や備前保健所、関係機関等と連携して感染症に係る情報を収集するとともに、市民への感染予防策の普及啓発により、感染症対策を推進します。</p>	所管課	こども家庭課（公立保育園こども園）・健康づくり推進課		
		人 員	正職員	会計年度職員	合計
			116人	115人	231人
		一般会計	3,231,043 千円		
		特別会計	千円		
		計	3,231,043 千円		
(うち人件費)	( 1,046,344 千円)				

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
1	<p>結婚から子育て期にわたる切れ目ない支援の提供</p> <p>次世代が安心して子育てできる環境づくりを目指して、結婚支援を推進します。</p> <p>子どもの出産後に係る経済的負担感を軽減し、子どもの健やかな成長を支援するため、子育て中の世帯に経済的支援を行う。</p>	<p>住宅取得費用などの結婚に伴う費用の一部を補助する結婚新生活支援事業により経済的な理由で結婚に踏み切れない若者を支援します。</p> <p>また、縁結びサポーターによる相談会を実施し、結婚を希望している方やその親を支援します。</p> <p>補助金交付件数 25件          相談会実施回数 4回          相談者数 20人</p> <p>市内の販売店で育児に必要な紙おむつや粉ミルクなどの育児用品を購入することができるすくすくチャイルドサポートチケットを、月3,000円（第3子以降は月5,000円）満3歳到達月まで交付し、子育て中の世帯を経済的に支援します。</p> <p>チケット交付率 100%          チケット使用率 98%以上</p>	<p>住宅取得費用などの結婚に伴う費用の一部を補助する結婚新生活支援事業により経済的な理由で結婚に踏み切れない若者を支援しています。</p> <p>また、縁結びサポーターによる相談会を実施し、結婚を希望している方やその親を支援しています。</p> <p>1月末補助金交付件数 22件          1月末相談会実施回数 3回          1月末相談者数 4人</p> <p>市内の販売店で育児に必要な紙おむつや粉ミルクなどの育児用品を購入することができるすくすくチャイルドサポートチケットを、月3,000円（第3子以降は月5,000円）満3歳到達月まで交付し、子育て中の世帯を経済的に支援しています。11月から、対象の育児用品にベビーフード等を追加し、事業を拡充しました。</p> <p>1月末チケット交付率 99.3%          1月末チケット使用率 96.9%</p>

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
1	<p>子育て中の世帯の孤立化や児童虐待を予防するため、関係機関との状況共有会議を実施し、家庭の事情に合った支援を行います。</p> <p>ひとり親家庭の自立を支援するため、多面的な支援に努めます。</p> <p>こどもが地域と繋がりを持ちながら、様々な交流や支援を通じて、安心して過ごすことができるよう、居場所づくりを行います。</p>	<p>要保護児童対策地域協議会において、警察、児童相談所、教委等と情報を共有しながら、見守りを行います。また、その中で個別の会議を適時開催し、改善方策を協議し、状況の改善に努めます。</p> <p>代表者会議 年1回 実務者会議 年12回 個別ケース検討会議 年30回</p> <p>ヤングケアラー支援に関して、関係機関と定期的に共有会議を行い、支援体制の強化と支援の充実を図ります。</p> <p>会議の回数 年3回</p> <p>経済的自立と安定を図るため、ひとり親家庭の相談体制の充実を図り、各種支援事業を実施します。</p> <p>ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数 3件</p> <p>こども食堂の立ち上げ・運営を行う団体への助成を行い、安定的な実施環境を整備します。事業の実施団体への支援については、社会福祉協議会へ委託します。</p> <p>実施団体 5団体</p>	<p>要保護児童対策地域協議会において、警察、児童相談所、教委等と情報を共有しながら、見守りを行っています。また、その中で個別の会議を適時開催し、改善方策を協議し、状況の改善に努めています。</p> <p>1月末代表者会議 1回 1月末実務者会議 10回 1月末個別ケース検討会議 25回</p> <p>ヤングケアラー支援に関して、関係機関と定期的に共有会議を行い、支援体制の強化と支援の充実を図っています。</p> <p>1月末会議の回数 2回</p> <p>経済的自立と安定を図るため、ひとり親家庭の相談体制の充実を図り、各種支援事業を実施しています。</p> <p>1月末ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数 2件</p> <p>社会福祉協議会へ委託し、こども食堂の立ち上げ・運営を行う団体への助成を行い、安定的な実施環境を整備しています。</p> <p>1月末実施団体 5団体</p>

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
2 地域全体での子育て環境づくりの推進	外遊びを通じて、子どもの健全な発育を促し、子育て不安の解消に努めます。また地域で外遊びを実施することにより、地域住民全体が子育てに関心を持つことで、安心して子育てができる環境づくりを推進します。	<p>みんなで作る瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、社協への委託により、子どもたちが外遊びを楽しむ「こどもひろば」の開催の支援をするとともに、新たに主体となって実施する団体の支援を行います。</p> <p>また、第2期みんなで作る瀬戸内市のこどもひろば基本計画を策定します。</p> <p>開催回数           年間150回 うち地域主体           60回 参加市民の数   年間7,050人 うちボランティア   300人 新たに主体となって実施する団体           1団体</p>	<p>みんなで作る瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、社協への委託により、子どもたちが外遊びを楽しむ「こどもひろば」の開催の支援をするとともに、新たに主体となって実施する団体の支援を行っています。</p> <p>また、第2期みんなで作る瀬戸内市のこどもひろば基本計画の策定に向けて、準備を進めています。</p> <p>1月末開催回数           84回 うち地域主体           44回 1月末参加市民の数   4,071人 うちボランティア   359人 1月末新たに主体となって実施している団体   1団体</p>

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
<p>子育て環境の充実</p> <p>3</p>	<p>仕事と子育てが両立できる環境を目指して、保育園・こども園・放課後児童クラブの施設整備を推進するとともに、子どもを安心して預けられる保育園・こども園を管理・運営します。</p>	<p>保育園・こども園において、0～2歳児の年度途中の入園に対応できない状況が特に顕著な長船地区を中心に、民間の誘致も含め、施設整備を推進します。</p> <p>放課後児童クラブの利用ニーズの高い邑久小学校区において、整備を推進します。</p> <p>その他、邑久保育園子育て支援センター手洗い新設工事をはじめ、各保育施設や放課後児童クラブの修繕等を実施し、子どもたちが快適に過ごすことができる環境を整備します。</p> <p>また、教育・保育給付認定のほか、3・4・5歳児の幼児教育の無償化に係る施設等利用給付認定を安定的に行います。</p> <p>年度末待機児童 10人以下</p>	<p>保育園・こども園において、0～2歳児の年度途中の入園に対応できない状況が特に顕著な長船地区を中心に、民間の誘致も含め、施設整備を検討しています。</p> <p>放課後児童クラブの利用ニーズの高い邑久小学校区において、令和7年4月開所予定で、整備をしています。</p> <p>その他、子どもたちが快適に過ごすことができる環境を整備するため、邑久保育園子育て支援センター手洗い新設工事をはじめ、各保育施設や放課後児童クラブの修繕等を実施しています。</p> <p>また、教育・保育給付認定のほか、3・4・5歳児の幼児教育の無償化に係る施設等利用給付認定を安定的に行っています。</p> <p>1月末待機児童 8人</p>

	重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
4	心と体の健康づくりの推進	<p>安心して出産・育児できるよう関係機関等の多職種と連携して、切れ目のない相談支援体制を充実強化し、子どもたちの健やかな成長と子育てを支援します。</p> <p>働き盛りの世代が受診しやすい体制整備に取り組み、各種がん検診を実施し、働き盛りの市民の健康づくりを推進します。</p>	<p>妊娠期から子育て期において成長発達に応じた適切な相談支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出時に保健師・助産師と妊婦の面談率 95%以上</li> <li>・乳児家庭全戸訪問実施率 95%以上</li> <li>・乳幼児集団健康診査受診率（乳児・1.6健・3健） 95%以上</li> </ul> <p>受診機会や検診の必要性を広報周知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙、市ホームページ、愛育回覧など広報活動 年5回以上</li> </ul> <p>個別検診や休日検診など受診しやすい体制を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん総合検診、休日・夜間に集団がん検診の実施 年4回実施</li> <li>・乳がん検診無料クーポン利用率 25%以上</li> <li>・子宮頸がん検診無料クーポン利用率 10%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出時に保健師・助産師と妊婦の面談率 96.5%（140人/145人）</li> </ul> <p>妊娠届出時は妊婦の体調等で代理人が来庁されるケースがあるが、後日妊婦本人と面談またはオンライン面談で、100%面談を実施できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児家庭全戸訪問実施率 99.1%（106人/107人）（R6.4～11月生まれ）</li> <li>・乳幼児集団健康診査受診率（R6.4～R7.1月実施分） 乳児…96.2%（152人/158人） 1.6健…93.5%（143人/153人） 3健…94.5%（188人/199人） 上記3種の健康診査の受診率…94.7%（483人/510人）</li> </ul> <p>&lt;がん検診広報周知&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙、愛育回覧、市ホームページ、公式LINEでの広報活動 10回</li> </ul> <p>&lt;休日・夜間検診&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間子宮頸がん・乳がん検診：2回（5/24、7/1）</li> <li>・休日子宮頸がん・乳がん検診検診：1回（11/3）</li> <li>・がん総合検診：1回（9/9）</li> </ul> <p>&lt;無料クーポン利用率&gt;（12月末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん検診：集団26名、個別14名 計40名/185名（利用率21.6%）</li> <li>・子宮頸がん検診：集団1名、個別5名 計6名/138名（利用率4.3%）</li> </ul>

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
4	<p>がん治療に伴う外見の変化によって悩みを抱える方の心理的・経済的負担を軽減し、社会参加の促進、生活の質の向上を図ります。</p> <p>不安や悩みを抱える人が、かけがえのない命を大切にして、早期に相談につながり、自分らしく安心して生活できるよう、こころの健康づくりを推進します。</p>	<p>医療用補整具購入助成金事業について広報周知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙、市ホームページでの広報活動 3回</li> </ul> <p>不安や悩みを抱える人への対応や支援や、正しい情報発信に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの健康相談 延利用者数 30人以上 新規利用者数 6人以上</li> <li>・こころの相談開催の広報活動や情報発信 年20回以上</li> </ul> <p>・保健師相談（面接・訪問） 延380人以上</p>	<p>&lt;医療用補整具購入助成金事業の広報周知&gt;計4回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページへ掲載 4月</li> <li>・広報せとうちへ記事掲載 7月、R7.2月</li> <li>・愛育委員ちらし全戸回覧 9月</li> </ul> <p>&lt;助成件数・助成金額&gt; 17件・443,000円（1月末時点）</p> <p>&lt;こころの健康相談の利用者数&gt; 延利用者数 25人（4月～1月） 新規利用者数 6人（4月～1月）</p> <p>&lt;こころの相談開催の広報活動や情報発信&gt; 計22回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙への相談日程の掲載：10回（毎月掲載）</li> <li>・広報紙への啓発記事の掲載：2回 9月自殺予防週間、 12月こころの健康づくり講演会 （図書館と合同開催のため図書館の情報誌に掲載）</li> <li>・市ホームページへの啓発記事の掲載：2回 9月自殺予防週間 12月こころの健康づくり講演会</li> <li>・公式LINEでの情報発信：9月自殺予防週間 12月こころの健康づくり講演会</li> <li>・愛育委員回覧への相談日程の掲載：5回（奇数月掲載）</li> </ul> <p>&lt;保健師相談（面接・訪問）&gt; 延421人</p>

重点項目	内容	成果目標	進捗状況（1月末）
感染症予防策の普及啓発による感染症対策の推進	健康増進や食育の重要性について普及啓発活動に取り組み、市民の健康づくり活動や意識啓発を進めます。	<p>健全な食生活に関する情報を提供し、食育活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回以上の情報発信</li> <li>・栄養指導の実施人数 延2,200人以上</li> </ul> <p>愛育委員協議会、栄養改善協議会の組織と協働して健康教育事業に取り組みます 実施回数 年200回以上</p>	<p>&lt;食に関する情報発信&gt; 計11回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙への記事掲載 1回</li> <li>・市HP サブサイトへの記事掲載 10回</li> </ul> <p>&lt;栄養指導実施人数&gt; 計2,172名 乳幼児期 877名 学童期 123名 成人期 1,187名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区で健康に関する広報活動 138回</li> <li>・乳幼児健診での健康教育 64回</li> <li>・地域で健康教育 26回</li> <li>・小学校で健康教育 14回</li> <li>・中学校で健康教育 5回</li> <li>・高校で健康教育 2回</li> </ul>
	乳幼児の定期予防接種に加え、追加的対策の風疹予防接種、子宮頸がん予防接種など各種予防接種の実施に速やかに取り組み、感染症対策をより一層推進します。	<p>感染症の正しい知識を持ち、予防対策に継続して取り組めるよう、正しい知識や新しい情報を随時、提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ作成、市ホームページ、広報、公式LINEへの掲載等での情報発信 年6回以上</li> </ul>	<p>&lt;感染症に関する広報周知、情報発信状況&gt; 計24回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙掲載 3回</li> <li>・市HP掲載 11回</li> <li>・公式LINE掲載 10回</li> </ul>
		<p>各種予防接種を積極的に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん予防接種者数 延350人以上</li> <li>・風しん追加的対策での風しん抗体検査者数 100人以上</li> <li>風しん予防接種者数 50人以上</li> </ul>	<p>&lt;子宮頸がん予防接種者数&gt; 実施期間 R6.4.1～R7.1.31 接種延人数（実人数）延619人（実348人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期接種 延147人（実101人）</li> <li>・キャッチアップ接種 延472人（実247人）</li> </ul> <p>&lt;風しん追加的対策での風しん予防接種者数&gt; 実施期間 R6.4.1～R7.1.31</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抗体検査者数 57人</li> <li>・予防接種者数 13人</li> </ul>